

「課題名：放射線治療における自動化放射線治療計画システムの有用性の検討」について

○ 研究の意義・目的

本研究の目的は自動化放射線治療計画ソフトとスクリプト機能の併用による自動化放射線治療計画システムが、放射線治療計画における用手的労働時間の削減、放射線治療計画の質の向上および計画者間の質の均てん化に貢献できるか否かを検証することです。放射線治療計画の自動化は、医療スタッフの過重労働の軽減に資する点、治療計画品質向上により悪性疾患を有する患者さんの治療結果の改善に貢献できる点で大きな意義があります。

○ 研究対象者

2010年1月1日～2022年12月31日までに、広島大学病院放射線治療科で放射線治療を受けられた患者さんを対象とします。対象疾患は、前立腺癌、食道癌、脳腫瘍、頭頸部癌、子宮癌、肺癌です。

○ 研究方法

本研究は、放射線治療計画データ、診療録（カルテ）情報を使用して行います。カルテから転記する内容は疾患名と臨床病期です。（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学大学院 医系科学研究科放射線腫瘍学 職名 講師 氏名 村上 祐司

○ 研究期間 2020年12月7日（委員会承認後）～ 2023年 12月 31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-1545

広島大学病院放射線治療科 講師 村上 祐司（研究責任者）

助教 西淵 いくの（担当者）